

# 石巻市震災復興基本計画(素案)に関する意見交換会

## 日時

平成23年11月27日(日)10:00~12:00

## 会場

北上保健医療センター

## 参加者数

約80名

## 主なご意見

### 災害に強いまちづくり

質問・意見	回答
堤防や高盛土道路を造った場合の浸水エリアは。	比較的頻度の高い津波(明治・三陸沖地震やチリ地震クラスの津波)は堤防で完全に防ぐ。今回のような津波は、堤防を越えてしまう区間があるが、高盛土道路により減災する。具体的なシミュレーションは出来ていないが、石巻市が進めるまちづくりと連携して対策をしていきたい。 【回答;北上川下流河川事務所長】
堤防工事は左岸右岸の同時進行なのか。また、工事期間が長くなると思うので交通確保をお願いしたい。	平成23年から27年までの5ヶ年で、両岸同時進行にて工事する計画である。堤防は国道398号や県道を兼ねている区間があるので、道路管理者と相談し、交通確保に配慮して工事を進める。 【回答;北上川下流河川事務所長】
堤防はどのように整備するのか。	堤防整備は、川については国、海岸については県の事業で行う。海岸堤防はTP8.4mで整備するが、具体的な構造は県が検討中なので地元に入る段階で相談があると思われる。河川堤防は、河口が海岸堤防と同じTP8.4mとし、上流に行くにしたがって低くなる。
国道のルートは山越えをするような図になっているが、決まったのか。	国道398号については、県に要望している。海岸沿い、堤防沿いを通行するのは危険を伴うので必要と考えている。
集団移転の場合、坪いくらずで土地を買い取るのか。	防災集団移転促進事業の場合は、移転先を市が貸し付けるのが基本で、購入も可としたい。購入の場合は、土地によって造成費が異なるので、現時点では価格は未定。
集団移転の候補地は。北上地区は、すでに修理して住んでいる方も多いため、堤防などで守ってほしい。	北上地区については、津波から守るために防波堤、防潮堤を造り、住宅地や総合支所を安全な高台であるにっこりサンパークの方へ移転する。地盤沈下した漁港のかさ上げ、背後地や皿貝川や大沢川等の雨水排水の推進、新北上大橋、新相川橋、国道398号の復旧、高台への新たなルート選定は県に要望していく。災害公営住宅を早急に整備するとともに、公共施設は、機能、配置を考えながら復旧する。
北上地区で多くの方が亡くなっているため、慰霊碑を建ててほしい	多くの方々が犠牲になっており、地域に慰霊碑が必要と考えているので検討したい。

## 【要望】

- ・ じっくりサンパーク周辺の街灯は、クラブハウスの街灯が22時に消え、中学校の体育館と玄関が23時に消灯され、真っ暗になる。防犯上、消灯時間を遅くしてほしい。灯りがあると団地全体が明るくなる。

## 市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す

質問・意見	回答
災害公営住宅について、北上地区には何戸か。	災害公営住宅については地域ニーズに応じて建設する。3次補正では特別家賃低減事業が創設され、収入に応じてかなり低廉な家賃で入居できる。各地域の必要戸数を早急に把握し、事業を展開していきたい
災害公営住宅の整備について、26年度完成は現実的なのか。	災害公営住宅は、基礎自治体である市の要望の戸数を県が事業主体となって整備するものである。あるいは市が事業を代行することもあり得るので、しっかりと連携をとりながら、できるだけ早く取組んでいきたい。
民間住宅復興の推進とは。	民間が建てたアパートを市が借りて、災害公営住宅とする事業。20年間、市が借上げて家賃を払うもので住宅の確保を早く進めていくために行う。
仮設住宅は何年入れるのか。2年と言われても住宅の設計もできない。	仮設住宅の入居期間は法律上2年となっているが、1年毎に状況に応じて延長を要望していきたい。
高台に私有地があるが、個人的に高台移転をした場合、補助金は出ないと聞いた。生活再建支援金はもらえないのか。	防災集団移転促進事業は、市の事業として実施する。個人で移転する場合でも、生活再建支援金は対象となる。生活再建支援金は基礎支援金と加算金とがあり、申請期限は基礎支援金が13か月、加算金が37か月と法で定められているが、住宅がいつ建てられるのか、修繕できるのか、めどが立たないので延長の要望を国・県に行っている。

## 自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる

質問・意見	回答
放射能汚染による食物連鎖が不安だが、どうなのか。	海の生物については、植物プランクトンからイワシなどに連鎖していくが、植物プランクトンは、放射性物質測定未実施であり、県と協同して今後しっかりと落ち度のないように取組んでいきたい。
放射能問題により、市場流通不可になった場合、行政が責任を持って補てんするなど対応してほしい。	県、漁協と情報交換をしながら取り組みたい。

## 未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる

質問・意見	回答
学校の統合について、相川、吉浜、橋浦小が統合になると公共施設がなくなる地域が出てくる。利便性の確保は。	学校の統合は、まだ、確定したものではなく、先日3地区の保護者を対象に説明会を開催した際に案として2案提示したもの。①被災していない橋浦小に統合する案。②じっくりサンパーク周辺に学校を新設する案。そのほかに案があるか意見を聞いており、地域住民の皆様の意見をいただきながら検討、審議していく。